



**晴れの日を祝福**  
 厳かな雰囲気にも包まれて始まった式典には、来賓のほか、これまででたくさん愛情を注いでわが子を育ててきた保護者などが多数出席しました。  
 酒井芳秀町長は「一人前の大人として責任を持ち、若者らしく失敗を恐れず今できることを確実に実行

**門出を迎えた265人**  
 第9回新ひだか町成人式が1月11日、町公民館で開かれました。今年の成人式対象者は、平成6（1994）年4月2日から平成7（1995）年4月1日に生まれた265人（男性142人、女性123人）。このうち219人が式典に出席しました。  
 会場には、華やかな振袖や羽織袴、真新しいスーツに身を包んだ新成人が晴れやかな笑顔とともに集いました。新成人たちは、友人との再会を喜び、思い出話に花が咲いたり、記念撮影をしたりして、互いの門出を祝福しました。



**新たな決意を胸に**  
 新成人を代表して、中里春香さんが町民憲章を読み上げました。決意表明では、小林英太郎さんが「責任と義務を負う一人の大人として自覚し、生まれ育った故郷に誇りと愛着を持ち、地域社会に貢献できる立派な社会の一員になります」と、社会人としての決

意を力強く宣言しました。式典後には、記念品として贈呈された「集合写真」の撮影が行われました。こうして幕を閉じた成人式。新成人たちは、身を包んだ晴れ着以上に輝く笑顔を見せ、人生の大きな節目に立った喜びと支えてくれる周囲への感謝をかみしめているようでした。そして、新たな決意を胸に、輝く未来に向かっての第一歩を踏み出しました。

①②真剣な表情で式典に臨む新成人。③琴と尺八の音色とともに式典開会。④式辞を述べる酒井芳秀町長。⑤町民憲章を読み上げる中里春香さん。⑥記念品を受け取る青木美薫さん。⑦全員での記念撮影のようす。⑧成人の決意を宣言する小林英太郎さん。



# 新ひだか町成人式

「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い励ます」ことを目的に、昭和23（1948）年に法律で定められた成人の日。  
 1月11日、265人の新成人が晴れの門出を迎えました。新たな決意を胸に、大人への第一歩を踏み出した新成人。輝く笑顔とともに、明るい未来に向かって歩き始めました。





**親元を離れて感じた感謝  
恩返しができる社会人に**

成人式を迎え、自分に責任が問われる年齢になったと思います。

現在、一人暮らしをしながら大学に通い、親元を離れてみて多くのことを経験する機会が増え、あらためて親のありがたさ、お金の大切さを実感しています。

無事に今日という日を迎えることができたのは、両親や友人、地域の方々、これまでに出会い、支えてくださった人たちのおかげです。

これからは今までお世話になった人たちに少しでも恩返しができるように、社会人として自分の発言と行動に責任を持ち、良識ある大人になれるように頑張ります。

西岡 愛理沙さん／大学生



**残りの大学生活を精一杯過ごし  
悔いのない将来に**

私は今、宮城県の仙台大学に通学しています。主に野球を中心とした毎日をごしています。近い目標としては、4年生までにもう一度、明治神宮大会に出場することです。その中で、私自身も一軍選手として活躍することを目指し、日々練習を頑張っています。

大学卒業後の目指す進路としては、硬式野球を社会人の舞台でも続けたい気持ちがある反面、高校教諭として高校球児を指導し、甲子園も目指したいという気持ちもあります。残りの大学2年間、どちらの道に進むことになっても困らないような準備をして、卒業後の進路を悔いのないものにしたいです。

三間 敬介さん／大学生



**患者との信頼関係を築き  
笑顔で接したい**

今日の成人式を迎えられたのは、いつも温かい言葉をかけてくれる家族や友人、この20年間に会った方々の支えがあったからこそだと感謝しています。

私は今、町内の医療機関に勤めています。患者さんとの信頼関係を大切に、笑顔で接していきたいと思います。職場や地域の方々との触れ合いを通じて、勉強の毎日です。まだまだ未熟な私ですが、自分らしく大人としての自覚を持ち、一人として頑張っていきます。

千葉 菜津美さん／看護助手



**大祖母の教えと感謝を胸に  
社会貢献に努力**

私は現在、国家資格取得のため勉強に励んでいます。

本年1月、数々の苦楽を経験し、一世紀を生き抜いた大祖母が天国へ旅立ちました。4月から社会に出ることになりますが、大祖母や諸先輩方の教えを胸に、これまでお世話になった家族や友人、先生、周りの人たちに感謝の気持ちを込めて、社会貢献に努力していきます。

住友 隆二さん／短大生



**両親への感謝  
芯の太いたくましい人に**

まずは、両親に感謝の気持ちを伝えたいです。ここまで育ててくれて本当にありがとうございます。これからは、どんどん親孝行していきたいと思っていますので、期待してください。

私は今、社会人2年目として地元で働かせていただいています。まだまだ未熟ではありますが、やりがい、自分の成長を日々感じる事ができ、とても充実した生活を送らせていただいています。これからも日々の勉強、努力を怠らずに芯の太いたくましい人間になりたいです。

水谷 優斗さん／日高中部消防組合勤務



# 二十歳の決意

大人への第一歩を踏み出した新成人。7名の方に将来の夢や目標、両親への感謝など今の気持ちを書いていただきました。



**周囲の気持ちを第一に考え  
社会で通用する人に**

私は幼いころから今まで、マイペースに生きてきました。中学・高校のころから、自分のマイペースな性格で「他人に迷惑をかけているな」と気づき始めてはいましたが、直すきっかけがありませんでした。大人になったことをきっかけに、少しずつ今のマイペースな自分を改善していきたいと思っています。

周りの人の気持ちを第一に考え、些細なことでも気配りや気遣いができ、他人のペースにも合わせていけるような社会で通用する人間になっていくことを目標にします。そして、少しでも早くそのような人間になれるよう、これからの人生を歩んでいきます。

石山 健太さん／(株)新興電気勤務



**将来の目標に向かって  
目の前のハードルを乗り越える**

私は札幌の理学療法士になるための大学に通っています。医療系ということもあり、とても勉強が難しいです。学校を辞めたいと何度も思ったこともあります。自分で決めた道なので、やれるところまで頑張りたいと思っています。目の前にあるハードルを一つ一つ確実に乗り越え、自分の将来につないでいくことが私にとっての目標であり二十歳の決意です。

社会人としては常識をわきまえ、大人であるという自覚を持ち、いつでも自分自身で責任がとれるような行動を心がけたいと思います。

中里 春香さん／大学生

